

令和7年4月1日
北海道大学

「ひらかれた北大キャンパス」の実現に向けて

北海道大学の使命は「教育」「研究」の更なる推進と、それを社会に広げ地域課題を解決する「社会との共創」にある。

本学の特筆すべき個性のひとつは広大で多様な「北大キャンパス」※であり、社会にとっても価値あるものである。それをひらくことは本学による社会貢献の在り方のひとつであり、さらに本学にとっても意義あるものとするのが本学の目指すところである。

「北大キャンパス」を本学と社会とがつながり新たな価値を創造する場とするため、種々の取組みを実施するにあたり、以下のとおりその方針を定める。

1. 教育・研究、フィールド資源等に触れる場の創出

本学の教育・研究、そして自然や文化を身近に感じられる場をつくることにより、本学に対する親近感や愛着が醸成されるとともに、関わる人の好奇心や意欲が喚起され、それぞれの成長や発展につながることを目指す。

2. 環境への配慮

取組みの推進にあたっては、本学の教育・研究施設としての本質的役割と生物多様性や歴史的資産としての価値を毀損しないように環境を保全する。また、「北大キャンパス」で過ごすすべての人にとって安心・安全が確保されるように配慮する。

3. 持続性の確保

学生や教職員による内発的な取組みを尊重するとともに、利用料や寄附金等を通して得られた収益は、それらの取組みの発展的継続や各資産の保全・発展等に活用する。

※「北大キャンパス」：札幌・函館キャンパスや他各地に有する施設(研究林、植物園、農場、牧場、果樹園、臨海（湖）実験所、附属練習船等)の総体